

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第33週の発生動向

### トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が812例あり、2021年の累積報告数は3,749例となった。1週当たりの報告数としては、第1週の449例を超える過去最多となった。

### 全数報告の感染症 (33週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：日本紅斑熱1例、レジオネラ症1例。5類感染症：梅毒1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	結核性リンパ節炎	頸部リンパ節腫脹
4類	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、頭痛、発疹、肝機能異常
	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎
5類	梅毒	宮崎市	40歳代	男	早期顕症梅毒I期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

### 新型インフルエンザ等感染症 (33週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	居住地保健所	報告数	年齢群										症状
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	422例	16	65	132	55	72	47	12	6	14	3	発熱、咳、全身倦怠感、頭痛、咽頭痛等
	都城	60例	1	11	18	7	12	5	4	1	1		
	延岡	50例	4	6	16	6	5	6	6	1			
	日南	29例	5	2	5	3	5	7		2			
	小林	19例	1	7	2	2	1	1	1	2	2		
	高鍋	68例	3	13	20	6	14	6	2	4			
	高千穂	4例		1	1		1	1					
	日向	93例	16	14	12	17	12	12	7		2	1	
	中央	11例	1		2	3	1	2	2				
県外	56例	1	33	15	5	1	1						

### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は349人(定点当たり10.5)で、前週比110%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎であった。

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【感染性胃腸炎】

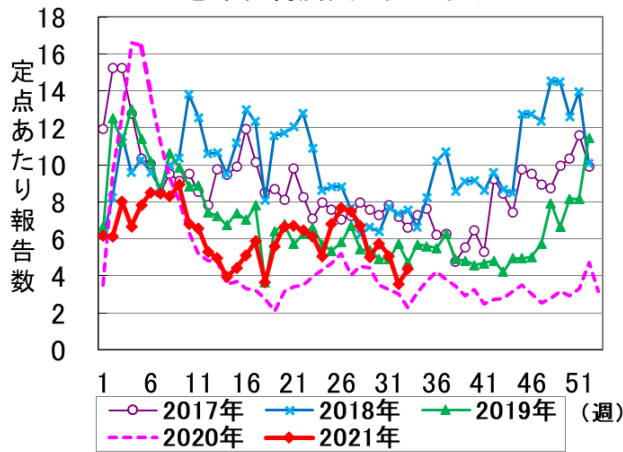
報告数は157人(4.4)で、前週比123%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(5.6)の約0.8倍であった。中央(11.0)、都城(8.2)、高千穂(7.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~5歳が全体の約7割を占めた。

##### 【手足口病】

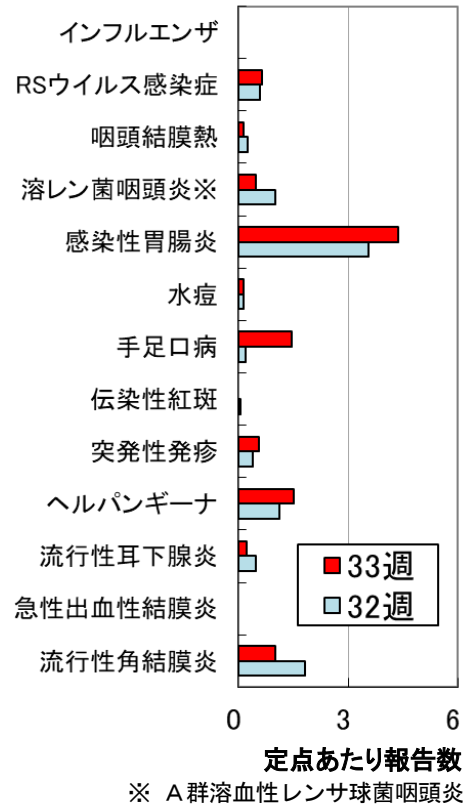
報告数は53人(1.5)で、前週比757%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*(1.7)の約0.9倍であった。延岡(7.3)、高鍋(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

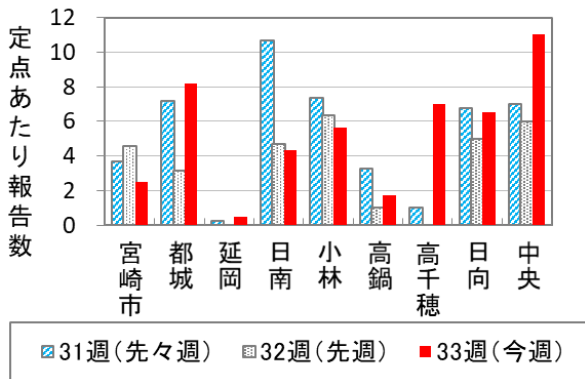
感染性胃腸炎 発生状況



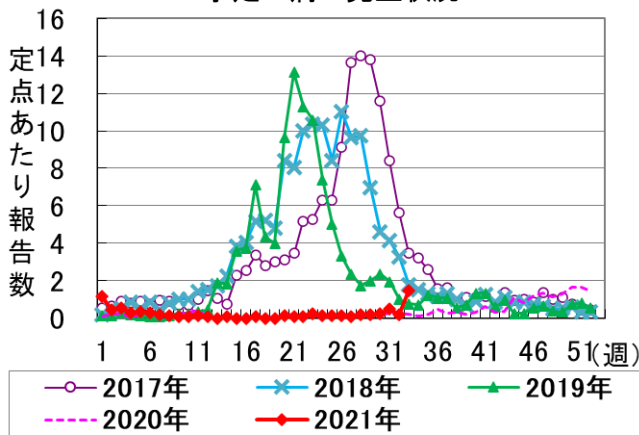
《前週との比較》



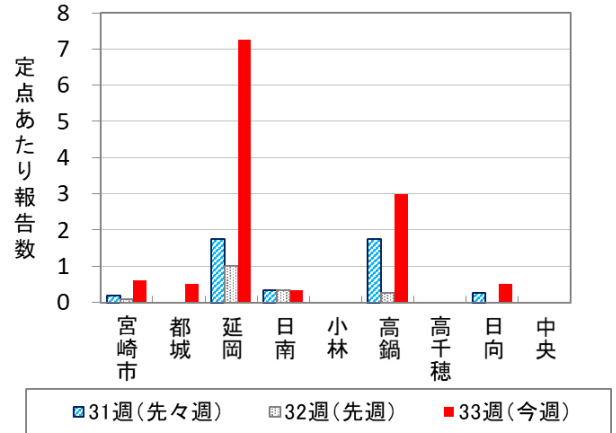
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(7.3)、ヘルパンギーナ(9.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

\*流行警報レベル開始基準値\*

- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

## 🇯🇵 全国 2021 年第 32 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	175 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	99 例		
4類感染症	E型肝炎	3 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	1 例
	日本紅斑熱	8 例	マラリア	2 例	レジオネラ症	24 例
5類感染症	アメーバ赤痢	8 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	19 例	急性脳炎	2 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	後天性免疫不全症候群	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	水痘（入院例）	2 例
	梅毒	75 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	5 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 66%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は7,469人(2.5)で前週比68%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.97)の約2.5倍であった。新潟県(10.4)、高知県(10.0)、徳島県(9.4)からの報告が多く、年齢群別では0歳から3歳が全体の約9割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は4,495人(1.5)で前週比63%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(2.8)の約0.5倍であった。大分県(5.1)、香川県(4.6)、宮崎県(3.6)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

疾病名	第32週	第33週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	21	23	2	1	1	13	2		4	
	定点当り	0.58	0.64	0.20	0.17	0.25	4.33	0.50	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	5	2		1	2				
	定点当り	0.25	0.14	0.20	0.00	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	36	17	4	1	3	8	1			
	定点当り	1.00	0.47	0.40	0.17	0.75	2.67	0.25	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	128	157	25	49	2	13	17	7	7	26
	定点当り	3.56	4.36	2.50	8.17	0.50	4.33	5.67	1.75	7.00	6.50
水痘	報告数	5	5	3			1			1	
	定点当り	0.14	0.14	0.30	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	7	53	6	3	29	1	12		2	
	定点当り	0.19	1.47	0.60	0.50	7.25	0.33	3.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数	2									
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	20	8	5	2	3	1		1	
	定点当り	0.39	0.56	0.80	0.83	0.50	1.00	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	40	55		2	38		2		12	1
	定点当り	1.11	1.53	0.00	0.33	9.50	0.00	0.50	0.00	3.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	17	8		3	5					
	定点当り	0.47	0.22	0.00	0.50	1.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	11	6	4	2						
	定点当り	1.83	1.00	1.33	1.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～33週)

2類感染症	結核	79例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	18例		
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	12例
	日本紅斑熱	9例(1)	レジオネラ症	6例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	3例	梅毒	57例(1)
	破傷風	3例	百日咳	1例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	3749例(812)		

( )内は今週届出分、再掲